

# 令和3年9月議会 宇都宮市議会定例会報告

一般質問  
一問一答方式

今井恭男



### 質問項目

- 1 中期財政計画について
- 2 中小企業応援プランの進捗状況について
- 3 通学路の安全対策と管理について
- 4 ハザードマップを活用したまちづくりについて
  - 1) 防災の視点から
  - 2) NCCの視点から
  - 3) 開発抑制・誘導の視点から
- 5 教育行政について
  - 1) 新型コロナウイルス感染防止に対する小中学校の取組について
  - 2) 子どもの家のB・Dブロック法人化への移行取組について
  - 3) テニスコートの通年無休化について



今井恭男市議  
録画配信HPの  
QRコード

### 質問及び答弁(抜粋)

#### 【質問項目3】

**Q** 「宇都宮市通学路交通安全プログラム」による交通安全対策の今日までの改善成果と路面標示等劣化破損の定期的なメンテナンスについて伺う。

**A** 小学校の周辺500mをスクールゾーンに設定および路面標示や看板の設置など、学校周辺の通学路安全を確保してきた。道路の拡幅を伴う歩道や防護柵等ハード面は地域の協力を得ながら引き続き取り組む。メンテナンスについては日常的な道路パトロールに加え毎年の市道一斉点検状況を確認し更新していく。

#### 【質問項目4】

**Q** 浸水ハザード内における市街化調整区域のNCC居住誘導区域の、本市独自の宅地の技術基準の見直しについての進捗状況について伺う。

**A** 都市計画法の改正を踏まえ、住宅の2階床面の高さを超える浸水深3mを超えるエリアは垂直避難が困難となる可能性から、地区計画から除外し住宅等の開発を抑制する。それ以外の浸水ハザード内の地区計画の運用は2階以上への垂直避難ができる建物構造を要件化し、令和4年度からの運用開始に向け取り組んでいく。

#### 【質問項目5-3】

**Q** 11月から4月まで休場日を設けている市営テニスコートの無休化について利用者アンケートの結果と無休化の可能性について伺う。

**A** アンケートでは施設の利用頻度は週1回から2回が5割強を占め、日中の利用希望日は、木曜日、日曜日、土曜日の順に多く、月曜日の休場日は約1割が利用を希望している。今後、利用者数や利用日数の状況を的確に捉え利用ニーズを見極めた上で休場日の取り扱いを検討していく。

一般質問  
一問一答方式

小平美智雄



### 質問項目

- 1 宇都宮駅東口地区整備事業について
- 2 プラスチック資源循環促進法への対応について
- 3 新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う経済影響について
- 4 LRTについて
- 5 大規模盛土造成地の安全対策について
- 6 ウィズコロナ社会におけるスポーツ活動の支援について
- 7 住宅用火災警報器の保守問題について



小平美智雄市議  
録画配信HPの  
QRコード

### 質問及び答弁(抜粋)

#### 6 ウィズコロナ社会におけるスポーツ活動の支援について

**Q** コロナ禍により児童・生徒の部活動等の大会が無観客や入場制限で行われるケースが多く、各自の端末によるライブ配信などにより観戦する機会が増加している。市内体育施設へのWi-Fiの設置や5G基地局の整備等、通信環境の整備によりウィズコロナ時代のスポーツ観戦を支援するべきかと考えるが見解を伺う。

**A** スポーツ施設へのWi-Fi設置については幅広い利用者への利便性向上に繋がる有効な整備と考えることから、想定される通信環境や利用状況等から必要となる容量を調査した上で計画的に設置を進めていく。また、5G基地局は利用が見込まれる場所への早期設置が望ましいことから市有財産を基地局の設置場所として貸し出す取り組みを活用し整備主体である携帯電話事業者と意見交換を行いながら5G基地局の整備を促進する。

**Q** 感染症対策の徹底により全国大会出場者や保護者の負担が増加している。負担の軽減や感染症対策の充実を図るために、補助額に感染症対策費用等を含めるなどの見直しを行い、宇都宮市の看板を背負い全国で活躍する児童・生徒を支援する必要があると考えるが見解を伺う。

**A** 現在実施されているスポーツ大会においては感染症の拡大に伴い一部の全国大会では事前のPCR検査の実施や個室宿泊が参加要件となるなど新たな負担になっているものと認識している。まずは感染症対策として追加されている様々な出場要件や主催者による対策などの状況を踏まえ、市スポーツ協会や各競技団体、中学校体育連盟等と意見交換を行い、支援のあり方について検討する。



一般質問  
一問一答方式

福田智恵



### 質問項目

- 1 行政のDXについて
- 2 新しい時代の学びを実現する学校について
  - 1) 老朽化が進む西原小学校の安全対策と施設改修
  - 2) 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方
  - 3) 学校の校則等の見直しと主権者教育
- 3 アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)と女性の活躍推進について
  - 1) アンコンシャス・バイアスの解消と女性活躍推進
  - 2) つながりサポート女性支援事業の学校展開と地域連携
- 4 医療的ケア児及びその家族に対する支援について
- 5 共生社会の実現に向けた取組について



福田智恵市議  
録画配信HPの  
QRコード

### 質問及び答弁(抜粋)

#### 4 医療的ケア児及びその家族に対する支援について

**Q** 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」は、こどもの「健やかな成長」と「家族の離

職防止」を目的に据え、医療的ケア児とその家族に対する支援を「国および地方公共団体の責務」と位置付け9月18日より施行される。この法律には、どこの地域に生まれても、障害があってもなくても、それぞれがその人らしく生きることを社会全体でサポートしたいという立法者の思いが込められている。本市においても自立支援協議会、基幹相談支援センターを更に機能させ、医療的ケア児コーディネーターが一体となって、必要なときに必要なサービスを必要な方へ届けられる仕組みづくりが急務である。増加傾向にある医療的ケア児とその家族に対する支援について、どのように対応を強化するのか伺う。

**A** 医療的ケア児の支援に携わる現場の声を直接取り入れるため、実務者を交えた協議の場を新たに設け、関係機関の連携強化を図ることに加え、現在実施しているサービスにおいても、ニーズに応じた柔軟な対応について検討していく。引き続き、医療的ケア児及びその家族に対する支援の充実を図るとともに、コーディネート機能を強化することにより、必要な時に必要なサービスを必要な方へ届けられる仕組みづくりに取り組んでいく。

宇都宮市在住	医療的ケア児数
2016年度	栃木県の調査：46人 (0歳から20歳未満)
2019年度	栃木県の調査：68人 (0歳から20歳未満)
2020年度	宇都宮市の把握：86人 (0歳から18歳未満)

一般質問  
一問一答方式

郷間康久



### 質問項目

- 1 市長の政治姿勢について
  - 1) 職員の健康管理
  - 2) 養育費確保支援
- 2 教育行政について
  - 1) 学校経費のPTA負担問題
  - 2) 平石中央小学校の将来像
- 3 農業政策について
  - 1) 集落営農支援策
  - 2) 農福連携の推進
  - 3) 農地利用適正化策
- 4 平出町トランジットセンターゾーンについて
- 5 市道305号線の拡幅と安全対策について
- 6 栃木国体について



郷間康久市議  
録画配信HPの  
QRコード

### 質問及び答弁(抜粋)

#### 2-1) 学校経費のPTA負担問題について

**Q** PTA費の一部が学校経費に使用されているケースが数多く見受けられるが問題はないのか。

**A** 過去2年間で小学校27校、中学校20校が10万円以上の寄附を受けている事実が確認された。今後は、公費の負担区分を明確にしたガイ

ドラインを策定し、学校運営の透明性や公平性を確保していく。

#### 2-2) 平石中央小学校の将来像について

**Q** 本市最小(児童数51人)の平石中央小学校についてLRT開通後の児童確保策をどのように考えているのか伺う。

**A** 「隣接校との通学区域の弾力化」を継続し、地区計画や地域振興策の動向を見据えた上で、学校や地域、保護者の皆様と検討を重ねていく。

また、LRT通学については、同小児童安全対策等検討協議会と協議しながら安全教室等を実施して児童の安全確保に努めていく。

#### 3-1) 集落営農に対する支援策について

**Q** 「3名以上」の営農グループを対象とした農業機械等導入補助事業の申請条件を「2名以上」に変更できないか。

**A** 現時点での利用実績が1件のみなので、今後の利用実態等を踏まえて検討していく。

#### 5 市道305号線(平出町)の拡幅と安全対策について

**Q** 平石地区まちづくり懇談会で要望された拡幅と安全対策が進んでいない。どのような状況にあるのか。

**A** 現在、道路設計を進めている段階なので、今年度中には地元説明会等を実施していきたい。

## 私たちは皆様の声を市政に活かします!!

次回12月議会質問予定者

郷間康久・中塚英範・宇梶哲・高橋英樹